

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス メロディ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日 ～ 2025年 3月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の立地条件が良く、各施設へのアクセスが容易	各市町村の施設などにいき、児童の見聞を広げるだけでなく、得た学びを自分の生活に生かす力を養うことを目的としている。	他の児童や保護者に向けて、体験内容を発表する時間を設ける 「伝える」ことを通じて、自分の理解を深めるだけでなく、他者との共感的な学びも生まれる。
2	・本人保護者のニーズをしっかりと個別支援計画反映させ、子供の成長にあった計画を立てている。 ・保護者との連携を取るようにしている。	・日頃から保護者との対話を大切にし、子どもの困り感などを共有し合える関係づくりを心がけている。連絡帳やLINE（メールアプリ）を活用することで、情報の漏れがないよう努めている。	保護者との対話の時間を定期的に設け、子どもの成長や困りごと、課題に対するフィードバックを行う。 保護者と施設の職員が直接交流できるイベントや懇親会を定期的に開催することで、信頼関係を深め、今後の支援に対する理解と協力を促進します。
3	・毎日プログラムが変わり、児童がワクワクして楽しめるようなプログラム作成を心がけている。	・毎月日課表を作成している。曜日と担当がなるべく被らないようにし、すべての児童に関われるようにしている。	学びと遊びのバランスの最適化 各活動の間に、リフレッシュや気分転換となる遊びやアクティビティを取り入れることで、児童が集中しやすく、ストレスが軽減を図る。 「学び」と「遊び」の時間を交互に設けるなどして、児童が飽きずに活動に取り組めるよう配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での避難訓練を実施しているが、災害時の避難場所の確保がむづかしい。	施設自体の構造・立地に課題がある → 建物の耐震性、立地（がけなど）により、災害時に一時的な安全確保が難しい。	定期的に避難訓練を実施し、消防署と連携が必要。
2	現在、専門職との連携は十分ではないため、児童支援に関する研修を今後さらに積み重ねていく必要がある。	スクールカウンセラー、児童相談所、福祉機関などとの関係性が希薄で、情報共有や相談のハードルが高い。	地元の児童相談所や福祉機関へ見学・訪問を行い、業務内容や連携方法の理解を深める。 専門職が行う研修や地域主催の合同研修・ケース会議などに積極的に参加。

[illegible]

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス メロディ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日		～	2025年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 3月 3日		～	2025年 3月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の立地条件が良く、各施設へのアクセスが容易	各市町村の施設などにいき、児童の見聞を広げるだけでなく、得た学びを自分の生活に生かす力を養うことを目的としている。	他の児童や保護者に向けて、体験内容を発表する時間を設ける 「伝える」ことを通じて、自分の理解を深めるだけでなく、他者との共感的な学びも生まれる。
2	・本人保護者のニーズをしっかりと個別支援計画反映させ、子供の成長にあった計画を立てている。 ・保護者との連携を取るようになっている。	・日頃から保護者との対話を大切にし、子どもの困り感などを共有し合える関係づくりを心がけている。連絡帳やLINE（メールアプリ）を活用することで、情報の漏れがないよう努めている。	保護者との対話の時間を定期的に設け、子どもの成長や困りごと、課題に対するフィードバックを行う。 保護者と施設の職員が直接交流できるイベントや懇親会を定期的に開催することで、信頼関係を深め、今後の支援に対する理解と協力を促進します。
3	・毎日プログラムが変わり、児童がワクワクして楽しめるようなプログラム作成を心がけている。	・毎月日課表を作成している。曜日と担当がなるべく被らないようにし、すべての児童に関われるようにしている。	学びと遊びのバランスの最適化 各活動の間に、リフレッシュや気分転換となる遊びやアクティビティを取り入れることで、児童が集中しやすく、ストレスが軽減を図る。 「学び」と「遊び」の時間を交互に設けるなどして、児童が飽きずに活動に取り組めるよう配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での避難訓練を実施しているが、災害時の避難場所の確保がむづかしい。	施設自体の構造・立地に課題がある → 建物の耐震性、立地（がけなど）により、災害時に一時的な安全確保が難しい。	定期的に避難訓練を実施し、消防署と連携が必要。
2	現在、専門職との連携は十分ではないため、児童支援に関する研修を今後さらに積み重ねていく必要がある。	スクールカウンセラー、児童相談所、福祉機関などとの関係性が希薄で、情報共有や相談のハードルが高い。	地元の児童相談所や福祉機関へ見学・訪問を行い、業務内容や連携方法の理解を深める。 専門職が行う研修や地域主催の合同研修・ケース会議などに積極的に参加。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童デイサービス メロディ		公表日 令和7年5月28日					
				利用児童数 年月日		2 0		回収数 14	
		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	直接人数などを詳しく聞いたことがない	国に定められた基準人数を配置しており、加配の職員も多数おります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	1	1	飛び出しなどがあった時には絶対安全とは言えないから	ご意見ありがとうございます。ご意見を真摯に受け止めて、安全管理に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				クールダウンなどもしっかりしてくれる	これからお子様の様子を日々丁寧に見守らせて頂きます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				学校とのモニタリング参加してくれて心強い	保護者や学校など関係機関との会議を通して、保護者からのニーズをしっかりと反映させて頂いています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			1			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9			5			
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				職員の退職の予定で人員の説明をしてくれた	保護者やお子さまを安心して通所できるように迅速な対応を心掛けていきます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		5			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		1	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				12	いつもと違う様子など迅速に対応してくれている	引き続き、迅速に対応していきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	1	2	クリスマス会が運動会などで年に1～2回程姉妹と交流できるがもっと増やしても良い	今後も親子参加型の交流イベントを予定しております。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2		2			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				いつも助かっている 心強い	ありがとうございます。今後も保護者に安心して頂けるように継続していきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			3			
非常時 等の 対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14						
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			4			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1	今までに頭を縫うけがをしたり、二回程誤嚥の怪我があった	ご意見ありがとうございます。ご意見を真摯に受け止めて、安全管理に努めています。	
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13						
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			これからも利用したいと思っている	ありがとうございます。子どもたちの成長に必要な支援を提供し続けられるようにサポートしていきたいと思います。	

監事等ワーキングメンバー		公開日: 2023.5.28 第 5 月 28 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境	1 利用登録が会員登録登録システムとの連携で適切である。	12				
	2 利用登録やその他の状態等に対して、職員の配置は適切である。	12				
	3 会員登録は、ことによりわかりやすく構築された状態になっているが、また、参加者の出席率は、参加の状況に応じて、リアルタイムで把握可能。運営上の連携が適切に行われている。	12				
	4 会員登録は、迅速で、ことにより迅速な状態になっているが、また、ことにより迅速に受け付けられる状態となっている。	12				
事業計画	5 必要に応じて、ことにより参加の開始や参加を促進することが認められる状態になっている。	12				
	6 会員登録を促進するためのPDAシステム（情報設定と取り出し）に、よく連携が実現している。	12				
	7 会員登録の促進により、会員登録の数を増やす機会を提供する機会を提供して、その内容が適切に反映されている。	12				
	8 職員が会員登録を促進する機会を提供して、その内容が適切に反映されている。	12				
運営	9 第三者による外部監査を行い、評価結果を運営改善につなげている。	12				
	10 職員が職務の上を遂行するため、研修を受講する機会を法人内で確保し研修を多量に提供されている。	11				
	11 研修が支援プログラムの作成、改善されている。	12				
	12 研修の成果に対してフィードバックを適切に行い、ことにより職員等のスキルアップが適切に行われ、ことにより職員等のスキルアップが適切に行われている。	12				
運営	13 会員登録のスキルアップを促進する機会に、児童発達支援職員等が参加している。	12				
	14 会員登録のスキルアップを促進する機会に、児童発達支援職員等が参加している。	12				
	15 会員登録のスキルアップを促進する機会に、児童発達支援職員等が参加している。	12				
	16 会員登録のスキルアップを促進する機会に、児童発達支援職員等が参加している。	12				
運営	17 活動プログラムの企画等まで行っている。	12				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	12				
	19 このほか状況に応じて、個別にカスタマイズした活動計画がほかの支援等サービスと連携を確保し、支援が行われている。	12				
	20 支援機関には協賛関係の支援がない。そのほか行われる支援の内容や数量が十分について確認し、チームで連携して支援を行っている。	11	1			
運営	21 研修終了後は、職員等が十分な休息をとり、そのほか行われる支援の内容や数量について確認し、チームで連携して支援を行っている。	11	1			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の継続、改善につなげられている。	12				
	23 定期的にモニタリングを行い、支援等サービスに対する効果の検証などの資料を利用し、適切な対応が行われている。	12				
	24 支援等サービスに対する効果の検証（4つの基本活動）を職員等が適切に行っている。	12				
運営	25 このほか状況に応じて、個別にカスタマイズした活動計画がほかの支援等サービスと連携を確保し、支援が行われている。	12				
	26 事業計画が支援等サービスに対する効果の検証（4つの基本活動）を職員等が適切に行っている。	11	1			
	27 活動の保護、改善（生活や協力関係等）、障害児、障害児、障害児の保護、改善（生活や協力関係等）、障害児、障害児					